

本庁共通様式
(表紙)

平成27年度決算に係る

定期監査
決算審査
調書

平成28年8月

教育委員会高等学校課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	1
4	職員の定員、現員調べ	2
5	役付職員の調べ	2
6	主な事業に関する調べ	3
7	決算調書(総括表)	10
8	事業別実施状況調べ	11
9	予備費の充用調べ	21
10	繰越関係調べ	21
	(1) 継続費逋欠繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	22
12	収入事務処理状況調べ	23
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
	(7) 現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ	27
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	27
15	税外収入不納欠損額調べ	27
16	債務負担行為の状況調べ	28
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	29
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	
18	工事請負費調べ	35
18-2	工事請負費調べ(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	35
19	財産に関する調べ	35
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ	38
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)	
21	借受不動産明細調べ	38
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	38
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
23	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	38
24	寄附物件の受納状況調べ	38
25	備品の処分状況調べ	39
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	39
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
27	貸付金等状況調べ	39
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	39

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

(3) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係(担当)名	課 の 主 な 所 掌 事 務
高等学校課	学事担当	県立高等学校の授業料に関すること。 高等学校等就学支援金に関すること。
	管理担当	県立高等学校の設置、廃止及び管理に関すること。 県立高等学校の教職員の定数及び任免その他の人事に関すること。 県立高等学校の教職員の組織する職員団体に関すること。
	指導担当	県立高等学校の教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関する こと。 県立高等学校の入学者選抜に関すること。 県立高等学校の教科用図書及び教材の取扱いに関すること。 高等学校卒業程度認定試験に関すること。
	高校教育企画室	今後の県立高等学校の在り方に関すること。 学力向上に関すること。
	英語教育推進室	外国語の教科指導に関すること。 国際理解教育及び国際交流に関すること。 海外留学支援に関すること。 外国語指導助手に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	28.4.1 現在	27.4.1 現在	28.4.1 現在	27.4.1 現在	28.4.1 現在	27.4.1 現在	28.4.1 現在	27.4.1 現在	
定 員	26	28					26	28	
現 員	(1)	(1)	()	()	()	()	(1)	(1)	・主事1名休職 H26.11.9～H28.
	27	29					27	29	
過不足(△)	1	1	0	0	0	0	1	1	・主事1名休職により定数外
臨時職員	0	0					0	0	
非常勤職員	5	7					5	7	・一般事務(2名) ・事務補助(1名) ・キャリアプランニングスーパーバイザー(1名) ・ALT支援職員(1名)

5 役付職員の調べ

(平成28年8月1日現在)

職 名	氏 名	在職期間		備 考
		年	月	
参事監兼高等学校課長	足羽 英樹	0	4	
高校教育主査兼高校教育企画室長	徳田 章人	0	4	
課長補佐	横山 順一	4	4	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要
<p>近畿高等学校総合文化祭鳥取大会開催事業</p> <p>決算(見込)額 32,451千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 0千円 一般財源 32,440千円 その他 11千円</p> <p>○将来ビジョン VI 育む (2)「人財・鳥取」の推進</p> <p>○政策項目 ⑩近畿高文祭、BESETO演劇祭、ワールド・トレイルズ・カンファレンス等で鳥取をアピール</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 本県で初めての開催となる「近畿高等学校総合文化祭鳥取大会」に向け、実行委員会や生徒実行委員会を開き、各部門の委員会等で準備を進め大会を開催・成功させる。</p> <p>(イ)事業の実施状況</p> <p>(1)実行委員会の開催 大会の企画・運営に関する必要事項の協議・決定を行う実行委員会を4月と10月に開催し、2月に総括を行った。</p> <p>(2)実行運営委員会の開催 実務者が集まり、総合開会行事の企画・運営と各部会の企画・調整を行う実行運営委員会を6月、8月、9月、10月に開催した。</p> <p>(3)総合開会行事委員会及び小委員会の開催 総合開会行事のテーマ及びシナリオや各開催部門の紹介方法等を検討する総合開会行事委員会を8月と10月に、原案等作成する小委員会を7月と9月に開催した。</p> <p>(4)生徒実行委員会の開催 生徒実行委員会を6月、7月、9月、10月(3回)に開催し、12月に総括を行った。 また、実行委員会以外にも県内各地のイベント会場での大会PR活動や、テレビやラジオにも出演する事によって大会の広報役を担った。</p> <p>【鳥取大会の開催状況】 開催期間:平成27年11月14日(土)～11月22日(日) 開催部門:総合開会行事、合唱、器楽・管弦楽、吹奏楽、日本音楽、マーチングバンド・バトントワリング、演劇、郷土芸能、吟詠剣詩舞、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、新聞、小倉百人一首かるた、まんが ※まんが部門の開催は、近畿高等学校総合文化祭史上初 会場:とりぎん文化会館、鳥取県立博物館、砂の美術館、県民体育館、倉吉体育文化会館、倉吉未来中心、大山町保健福祉センターだいせん、植田正治写真美術館、米子市文化ホール、米子コンベンションセンター、ガイナックスシアター、国際ファミリープラザ、水木しげるロード、境港市役所しおさい会館 参加人数:約12,000人</p> <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が考案したプランで「手作りのおもてなし」を行うとともに、生徒実行委員会を中心に、一般県民の来場を促すため、各種広報活動を展開した。 ・高校生まんが王国とっとり応援団員を中心に、まんが部門の開催準備・運営を盛り上げるとともに、総合開会行事での特別支援学校の生徒との共演、韓国江原道生徒の大会参加など、鳥取県らしさをアピールした。 ・県内高等学校文化連盟や各学校との緊密な連携と併せて、教育委員会事務局内に実施本部を組織し大会運営をサポートする体制を整えた。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会を中心として、県内高等学校文化連盟や各学校、会場となる県内各会場と緊密な連携を図ることにより、参加人数等で他府県に負けない規模で開催することができ、成功を収めた。 ・また、生徒実行委員会や各部門大会の運営生徒にとっては、今大会を自分たちの手で運営したことが大きな自信となり、県内他校生徒との交流も多く生まれた。 ・まんが部門の開催や特別支援学校生徒との共演など、大会の開催を通じて鳥取県らしさを県内外にアピールすることができた。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の活躍を多くの県民の方に見ていただくチャンスであったが、県内の一般来場者の参加が少なく、広報の方法に工夫が必要だった。 ・部員数や部活動を行っている学校が少ない部門もあり、運営を担う顧問や生徒の確保が難しかった。また、大規模な大会運営の経験がある顧問が少なく、一部の顧問に負担が集中することがあり、後継者の育成が必要である。 ・今大会が初となった「まんが部門」の開催成果を維持・発展させながら、高校生の文化活動として継続していく必要がある。 	

事業名	概	要
<p>高等学校改革推進事業</p> <p>決算(見込)額 125千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 0千円 一般財源 125千円 その他 0千円</p> <p>○将来ビジョン VI 育む (2)「人財・鳥取」の推進</p> <p>○政策項目 なし</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的</p> <p>平成31年度以降も生徒数が減少することが予想されることから、平成31年度以降の県立高等学校の在り方について検討を行うとともに、平成24年度に策定した基本方針に基づき、平成30年度までに必要な学級減等についても併せて検討を行う。</p> <p>(イ)事業の実施状況</p> <p>(1)平成31年度以降の県立高等学校の在り方</p> <p>鳥取県教育審議会の答申(平成26年9月)に基づき、パブリックコメントを実施するなど検討を重ね、平成31年度から平成37年度までの本県高等学校教育における基本的な考え方や施策展開の方向性を示した基本方針を策定した。</p> <p>①パブリックコメントの実施</p> <p>基本方針の素案を作成し、県民の方の幅広い意見を今後の取組に反映させるためにパブリックコメントを実施した。</p> <p>ア 実施期間:平成28年1月5日(火)から同年2月4日(木)まで</p> <p>イ 周知方法:県ホームページ、新聞広告(1/17)、県民課等への概要チラシ配架 報道機関への資料提供</p> <p>ウ 公募方法:郵送、ファクシミリ、電子メール、ホームページ、意見箱への投函(県民課等)</p> <p>エ 応募件数:123件(66名及び4地域)</p> <p>②基本方針の策定</p> <p>平成28年3月19日、平成31年度から平成37年度までの本県高等学校教育における基本的な考え方や施策展開の方向性を示した基本方針を策定した。</p> <p>【基本方針の概要】</p> <p>第1章 時代や社会の変化に対応した高等学校教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブ・ラーニング型授業への改革 ・グローバル社会で活躍できる人材の育成 ・ICTを活用した教育の推進 など <p>第2章 今後の生徒減少期に対応した魅力と活力にあふれる学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携等による学校の特色や魅力づくりや「単位制高校」への移行を推進 ・生徒数減少には、原則として学級減で対応 ・小規模校(1学年当たり3学級以下の学校)の在り方に関する基準を作成 ・小規模校ならではの特色ある取組を推進している学校の存続に最大限努力 <p>(2)平成30年度までの県立高等学校の在り方</p> <p>平成25年度～平成30年度の基本方針に基づき、計画期間中に実施予定の学級減対象校等について、検討を行った。</p> <p>※計画期間中の学級減予定数は8学級。既に6学級減を決定済。</p> <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>平成31年度以降の基本方針を策定するにあたり、パブリックコメントを実施し、県民等から幅広く意見を聴取した。また、地元高校の在り方について考え、支援していただいている青谷高校、日野高校、岩美高校、智頭農林高校の地元自治体関係者等へは、パブリックコメントの一環として個別に説明会を開催した。</p> <p>ウ 成果</p> <p>平成31年度以降の本県高校教育の基本的な考え方や施策の方向性を示した「基本方針」を策定し、「地域との連携」「学校の特色化・魅力化」「特色ある取組を推進する高校の支援」の取組の方向性を明確にした。</p> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も減少が予想される中学校卒業生数の状況や、入学者が募集定員に満たない学校があるという現状を県教育委員会として強く認識し、学校や地域等との緊密な連携の下、今後の本県高等学校教育を俯瞰しつつ、魅力と活力のある学校づくりに全力で取り組んでいくことが必要である。 ・平成30年度に予定している学級減対象校(学科)の具体的検討を進め、平成28年度中に決定することが必要である。 	

事業名	概	要
<p>21世紀型能力を育む次世代授業創造プロジェクト</p> <p>決算(見込)額 1,795千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 0千円 一般財源 1,795千円 その他 0千円</p> <p>○将来ビジョン VI 育む (2)「人財・鳥取」の推進</p> <p>○政策項目 ⑬英語教育やアクティブ・ラーニングはじめ学力向上対策</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 生徒に21世紀型能力を身につけさせるため、各高等学校が各校の状況に応じて設定したテーマに基づき、次世代型授業(アクティブ・ラーニング ※1)の実施に向けた教員の授業改革に係る各校の基盤を育成するとともに、校種間連携(新スクラム教育(※2))による学力向上策について研究する。</p> <p>(※1)教師主導の一斉講義形式の授業ではなく、学習者の能動的な授業への参加形態を取り入れた教授・学習法の総称。</p> <p>(※2)県内に6つのモデル地区(ツリー)を設置して、小・中・高が英語又は数学の教科指導をとおして連携し、小中高を見通した学習内容の定着と応用力を伸ばす教科指導体制のモデルづくりに取り組むもの。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◎鳥取東高(鳥取東中:英語) ◎八頭高(八頭中、郡家西小:数学) ◎倉吉東高(倉吉東中、河北中:英語) ◎倉吉西高(倉吉西中、久米中、上小鴨小:数学) ◎米子東高(溝口中、岸本中、日南中:英語) ◎境高(境港総合技術高、境港市内全小中学校:英語) ※◎:中心となる県立高校 ()内:連携する中・小学校及び連携する教科</p> </div> <p>(イ)事業の実施状況 対象校に専門的で科学的な知見に基づいた研究者や先進事例の実践者を講師として派遣した。 【対象校】 ①次世代型授業への改革 → 全県立高等学校24校 ②新スクラム教育 → 中心となる県立高等学校6校(6ツリー)</p> <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・次世代型授業改革の講師選定に苦慮している学校も多かったことから、「アクティブ・ラーニング型授業講師招聘実績一覧」をまとめて提供し、各校の実情に応じた授業改革の基盤づくりを支援した。</p> <p>ウ 成果 ・次世代型授業への改革については、本事業を活用して大学教授や他県教諭等を招いて研究授業に対する指導助言や講義を受けることで、学力向上に向けた授業改革への意識が高まり、新たな授業法を取り入れる教員が増えてきた(研究授業等での実践など)。 ※平成27年度は、本事業を計11校で活用。その他の高校でも本県における次世代型授業を実践・研究する場である「学びの文化祭」を主催するなど、学力向上に資する取組を全校で実践。 ・新スクラム教育については、各校(ツリー)の研究内容に応じ、本講師派遣事業も活用(平成27年度は5校(5ツリー)が活用)して大学教授を招いた授業分析やワークショップ等を実施するなど内容を深め、全6校(ツリー)が「校種を超えた学びと指導の連続性」を主テーマとした鳥取県教育研究大会(幼保小中高すべての校種が参加)において、取組発表を行うなど、その成果を全県に普及することができた。</p> <p>エ 課題 ・生徒の思考力・表現力・判断力等を育成する次世代型授業への改革をさらに進め、文部科学省が進めている「高大接続システム改革」を見据えた対応としていくことが必要である。 ・次年度が3年間継続事業である新スクラム教育事業の最終年度であり、本事業も有効に活用しながら、校種間接続期の有効な教科教育や6年間(12年間)を見通した教科教育の研究といった成果の普及につなげていくことが必要である。</p>	

事業名	概	要
<p>鳥取県版キャリア教育推進事業</p> <p>決算(見込)額 7,796千円 うち 一般 4,317千円 明許 3,479千円</p> <p>(財源内訳) 一般 国庫支出金 1,303千円 一般財源 2,996千円 その他 18千円</p> <p>明許 国庫支出金 3,479千円 一般財源 0千円 その他 0千円</p> <p>○将来ビジョン Ⅵ 育む (2)「人財・鳥取」の推進</p> <p>○政策項目 なし</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 生徒一人ひとりが、将来、社会的に自立していくために、必要かつ基盤となる能力や態度を育てるためのキャリア教育を全ての県立高校で実施し、夢や希望に向かって果敢にチャレンジし、将来の日本や鳥取県に貢献する気概のある生徒を育成する。</p> <p>(イ)事業の実施状況</p> <p>(1)県キャリア教育推進会議 ・委員会:2回 ・ワーキンググループ会議:2回(内1回は三重県視察) ・キャリア教育指導者研修会:1回(管理職及びキャリア教育担当)</p> <p>(2)地域と学校のネットワーク会議 ・専門高校8校9部会実施</p> <p>(3)キャリア塾 ・「ようこそ高校へ」版:全県立高校24校、95事業実施 ・「教えて先輩」版:県立高校(普通科)2校、2事業実施</p> <p>(4)「キャリアプランニングスーパーバイザー」配置 ・各学校の体系的な計画の作成と、早期離職者に対する原因分析の支援 →体系的なキャリア教育全体計画:全県立高校24校で策定 ・キャリア教育関連講師人材の集約、就職支援相談員(キャリアアドバイザー)との連携</p> <p>(5)「キャリア教育推進協力企業」認定制度 ・平成28年度3月末113社認定</p> <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各高校において、キャリア教育の体系的な計画が作成されておらず、ひとつ一つの活動につながりがなく単発的なイベントで終わっていたため、全体計画を策定し、キャリア教育の各事業の目的を教員間及び生徒・保護者で共有した。 ・高校におけるキャリア教育について、教員だけで指導する方法が大半であったが、地域の社会人、卒業生、就労支援諸機関、NPO団体等との協力・協同をすすめ、地域や社会とのつながりや連携を強化した。 ・地域と学校のネットワーク会議の開催やキャリア教育推進協力企業制度の創設により、学校側、企業側が身につけたい力を共有し、インターンシップをキャリア形成につながる活動へ変換するとともに、学校と企業が相互に受信を行う機会を増やし、キャリア教育活動が卒業後も社会と切り離されることなく、郷土愛、起業家精神、グローバルな視野を持つ人材の育成につなげた。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立高校24校のキャリア教育全体計画作成の趣旨、作成手順等を学校の管理職及び指導者研修会で説明することで各校の活動の整理・見直しに役立てた。 ・キャリア教育に関する校内研修及び普通科高校における企業見学を実施する学校が少しずつ増加するとともに、校内にキャリア教育を担当する分掌・組織を明確に位置づけたり、校外の諸機関と連携し、新たな組織を設置する学校が増加している。 ・キャリア教育推進協力企業制度の創設により、鳥取県内でキャリア教育を推進する動きを産業界にPRできたとともに、学校に協力企業の情報提供を行うことができた。 ・学力の向上に関するアンケートにおける指標のポイントが向上 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」…H25年度53.9% → H27年度58.8% 「ボランティア活動に参加し、社会に貢献している」…H25年度23.0% → H27年度25.8% 「将来は、今住んでいる地域や鳥取県で働きたい」…H25年度50.1% → H27年度52.0% ・就職希望者の一次応募時点の内定率が79.5%と高く、マッチングが適切に行えたことにより、早期離職の防止につながっている。(年度末時点の内定率は、99.8%と前年に続き高水準) <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の産業界や中学校等に対し、高校でのキャリア教育活動の発信が不足しているため、策定したキャリア教育全体計画を有効に活用して啓発していく必要がある。 ・生徒の地域産業に対する理解を深めるため、生徒だけでなく教職員についても地域産業を知る機会を増やすとともに、インターンシップや講演等のさらなる充実が必要である。 ・生徒一人ひとりの社会的自立のため、自己肯定感、自己有用感を育成するための取組の質を高めることが必要である。 	

事業名	概	要
<p>英語教育強化推進事業</p> <p>決算(見込)額 6,983千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 3,486千円 一般財源 3,490千円 その他 7千円</p> <p>○将来ビジョン VI 育む (2)「人財・鳥取」の推進</p> <p>○政策項目 ⑬英語教育やアクティブ・ラーニングはじめ学力向上対策</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 次期学習指導要領の全面实施(小学校:平成32年度、中学校:平成33年度、高校:平成34年度)に向け、教員の指導力向上と、小・中・高それぞれの段階の学習到達目標の設定とその実現状況を把握管理する。また、グローバル化に対応した教育環境づくりのモデルとして小中高が連携した英語教育の強化地域を指定し、先導的な英語教育を推進する。</p> <p>(イ)事業の実施状況</p> <p>(1)鳥取県英語教育推進会議 ・小中高一貫した英語教育を推進するため、本県英語教育の方向性や具体的方策について協議し、事業の進捗状況や成果・課題について検証。(年間3回)</p> <p>(2)英語教育研修協力校支援事業 ・国の研修協力校(米子西高、境高、境一中)において、中高連携を図りながら、英語によるコミュニケーション活動の充実等、授業改善の取組を推進。(授業研究会2回、指標に基づく成果検証)</p> <p>(3)英語担当教員等の指導力向上 ・小中高の推進リーダー(2名～3名)を国の中央研修に派遣し、修了後伝達研修を実施。 ・韓国江原外国語教育院へ高校英語教員2名を2週間派遣。(小中教員については伝染病Mersの流行により見合わせ。) ・中学校英語教員に対し、外部専門英語教育機関によるオールイングリッシュによる英語指導法研修を実施。(延べ2日間の研修に加え、英語力向上検証のためのTOEIC受験を実施) ・高校における高度な言語活動として、討論やディベートの指導ができるよう、専門の大学教授を講師とした研修を実施。(年2回) ・外国語指導助手(ALT)とのチームティーチングの改善のため、指導力向上研修を実施(ALT:2日間、日本人英語教員(中学高校):1日)</p> <p>(4)小・中・高を通じた英語教育の推進 ・国指定の英語教育強化地域拠点(若桜学園小・中学校、八頭高校)において、小学校英語教科化のための教育課程の開発や、中学高校における高度な言語活動の研究を実施。(授業研究会、先進校視察、運営指導委員会の開催)</p> <p>(5)英語教育推進フォーラム ・英語教育の有識者を招聘しての講演、県内の優れた実践を行う学校の取組発表等を実施。 (高校教員46名、中学校教員15名、小学校教員3名参加)</p> <p>(6)江原道教員受入事業 ・教員英語研修で連携している江原外国語教育院より研修担当者を受け入れ、県内の学校における英語の授業や教員研修の様子を公開。</p> <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・中学校英語教員の英語力を高めるため、英語で行う研修受講者に対して外部検定試験(TOEIC)を受験させた。 ・県内研究校の取組を周知するため、英語教育推進フォーラムを開催した。</p> <p>ウ 成果 ・国の「生徒の英語力向上推進プラン」(平成27年6月策定)に基づき、県として英語教育改善プランを作成し、指標により計画的に目標管理を行うことができています。 (例)英語による言語活動の割合が増加 (中学:H26年度27%→H27年度70%、高校:H26年度40%→H27年度50%) ・中高英語教員の授業実践の中で、優れた事例が現れてきている。 (例)英文テキストを読ませ、内容について英語で意見交換を実施</p>	

事業名	概	要
英語教育強化推進事業 つづき	<p>工 課 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の英語による言語活動が中心となる授業が行われるよう、授業における言語活動の割合の更なる増加と、そのような授業展開を可能とする教師の英語力の向上を、特に中学校で図ることが必要である。 ・平成32年度から全面実施となる小学校における英語の教科化に対応するための指導法の研究や、4技能(聞く・話す・読む・書く)の統合的な英語の活用能力(※)を育成するための指導を進める方策についての検討も、併せて行っていく必要がある。 <p>(※)読んだり聞いたりしたことについて、話したり書いたりする力</p>	

事業名	概	要
<p>自己理解・他者理解アプローチ事業</p> <p>決算(見込)額 1,835千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 0千円 一般財源 1,835千円 その他 0千円</p> <p>○将来ビジョン VI 育む (2)「人財・鳥取」の推進</p> <p>○政策項目 なし</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 県立高校3校を特別な支援を必要とする生徒を支援していくための「リーダー校」とし、「高等学校特別支援コーディネーター」を配置して、障がい等のある生徒への指導・支援の充実を図る。また、リーダー校以外の21校を「アプローチ校」として、リーダー校等の助言を受け、当該校特別支援教育担当者を核として支援の充実を図る。</p> <p>(イ)事業の実施状況</p> <p>(1)リーダー校とアプローチ校の連携 ・リーダー校の特別支援教育担当者を特別支援コーディネーターに指名し、それぞれ東・中・西部の地区を担当し、自校の効果的な取組等の発信や、発達障がい拠点(特別支援学校)と連携してアプローチ校へ助言等を実施 ・リーダー校において、特別支援教育に関する授業研究会を開催 ・アプローチ校は、リーダー校の助言等を受けながら取り組むと同時に、校内支援体制の充実を図った。 リーダー校: 青谷高校、米子白鳳高校、境港総合技術高校 アプローチ校: 他の県立高校</p> <p>(2)自己理解・他者理解のための生徒対象研修 ・リーダー校において、大学教員や有識者等による講演会(生徒、保護者、教職員対象)を開催するとともに、生徒が特別支援学校を訪問し、交流を進めた。</p> <p>(3)自立力アッププロジェクト(自立活動等の研究) ・特別支援コーディネーターが自立活動や通級に類する指導に関する先進地を視察 ・関係機関との情報交換会を実施し、ネットワークを構築 ・特別支援教育に関する図書購入</p> <p>(4)鳥取県高等学校特別支援教育研修 ・各校の特別支援教育担当者が参加し、特別支援コーディネーター等との意見交換会を実施</p> <p>(5)啓発資料の作成 ・パンフレット「高等学校における特別支援教育の充実を目指して～関係機関とのネットワークの活用～」を2,000部作成、全県立高校及び関係機関に配布</p> <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・教職員主体の研修等から生徒を主体とする講演会や研修、自立力アップにつながる取組等を中心に展開した。 ・特別支援教育担当者が校内支援の核となり、校内の関係分掌との連携を密にとるようにした。</p> <p>ウ 成果 ・リーダー校を中心として、障がいのある生徒の自己理解、他の生徒の他者理解が進みつつある。 ・各校で教室のユニバーサルデザイン化が浸透してきており、授業開始時に本時目標が生徒に伝わりつつある。 ・講演等により、発達障がいの特性等に対する教職員の理解が深まり、課題等の提出が遅れる生徒の背景を探りながらの生徒指導が浸透しつつある。 ・関係機関との情報交換会等を通じて、双方の現状理解が進み、関係機関とのネットワークがより強固なものとなってきている。 ・特別支援コーディネーターの先進地訪問により、高等学校における通級指導の在り方に関する情報収集ができた。</p> <p>エ 課題 ・リーダー校での取組成果をアプローチ校(21校)に普及するため、リーダー校の特別支援コーディネーターの活動やアプローチ校における取組強化のための支援が必要である。 ・生徒本人及び保護者の障がいに対する受容を進めるため、校内及び関係機関との連携を密にする必要がある。 ・円滑な支援体制を構築するため、進学先や就職先への引継を推進していくとともに、高等学校における通級指導の具体策について検討をすすめていく必要がある。</p>	

7 決算調書
(総括表)
一般会計

(単位:円)

区分	科目	予算		現額		決算額 B	決算額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引増減額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費 繰越額	備費 支出及び 増減		計 A	本庁			
歳	教職員人事費	10,722,000	0	0	0	9,303,604	9,302,563	1,041	0	1,418,396	
	教育連絡調整費	963,755,000	0	0	0	933,594,750	96,350,346	837,244,404	0	30,160,250	
	教育振興費	297,130,000	△ 6,667,000	11,157,000	0	231,660,511	74,571,424	157,089,087	6,437,000	63,522,489	明許含む
	教育財産管理費	8,317,000	△ 1,790,000	8,984,000	0	14,346,158	0	14,346,158	0	1,164,842	明許含む
出	合計	1,279,924,000	△ 8,457,000	20,141,000	0	1,188,905,023	180,224,333	1,008,680,690	6,437,000	96,265,977	
	教育使用料	955,491,000	△ 7,696,000	0	0	935,558,142	0	935,558,142	0	12,236,858	決算額は教育 総務課人件費
	入試選抜費	5,250,000	0	0	0	4,685,661	4,473,911	211,750	0	564,339	
	教育 手数料	2,896,000	0	0	0	2,504,770	472,810	2,031,960	0	391,230	決算額は教育 環境課手数料
	上記以外	28,185,000	△ 1,446,000	0	0	27,411,549	20,346,289	7,065,260	0	△ 672,549	決算額は教育 総務課人件費
歳	教育費国庫負担金	1,232,052,000	△ 7,503,000	0	0	1,210,001,295	1,210,001,295	0	0	14,547,705	
	教育費国庫補助金	22,641,000	△ 4,412,000	12,006,000	0	21,620,760	21,620,760	0	0	8,614,240	明許含む
	教育委託金	31,006,000	△ 3,229,000	0	0	15,394,583	15,394,583	0	0	12,382,417	
入	生産物売払収入	3,311,000	△ 1,278,000	5,082,000	0	5,670,215	0	5,670,215	0	1,444,785	明許含む
	雑入	4,326,000	732,000	0	0	5,217,848	2,943,152	2,274,696	0	△ 159,848	
	繰越金	0	0	3,053,000	0	3,053,000	3,053,000	0	0	0	明許
	合計	2,285,158,000	△ 24,832,000	20,141,000	0	2,231,117,823	1,278,305,800	952,812,023	0	49,349,177	

特別会計
該当なし

8 事業別実施状況調べ

(単位:円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(教職員人事費) 教職員人事管理費	10,722,000	9,303,604	0	1,418,396	適切な学校管理・運営を期するため、管理主事による学校訪問等を行い、高等学校への指導を行った。 学校教育の充実と教育水準の向上に資するための教職員人事に努めた。 鳥取県教育委員会指導改善研修教員審査委員会を開催し、過去に認定解除された教員の状況、指導改善研修について協議した。
目 計	10,722,000	9,303,604	0	1,418,396	
(教育連絡調整費) イングリッシュ シャワールーム設 置事業	31,035,000	30,213,243	0	821,757	県内中学校6校に、各1名ずつ外国人スタッフを配置し、生徒が日常的に英語に触れることのできる場所(イングリッシュシャワールーム)を設置して、生徒の英語によるコミュニケーション能力を高めた。 ・給食や休憩時間の英会話 ・お昼の校内放送番組担当 ・ティームティーチング ・英語検定の面接練習 ・英語弁論指導 ・英語での交換日記 ・月1回。通信を発行 ・外国の行事、イベントの紹介 ・英語の本や映画の紹介
とっとりイン グリッシュクラブ	1,339,000	1,109,373	0	229,627	中高生の希望者を対象に県内の外国語指導助手(ALT)を活用し年間6回の体験活動及び、2泊3日の英語キャンプを実施し、英語を学ぶ楽しさやコミュニケーション能力の向上につなげた。 ・中高生延べ約150名参加 ・主に土曜日に県内各地で活動を実施 ・ネイティブスピーカーとのコミュニケーションだけでなく、環境問題に関する意見交換やブレゼン等も実施
教職員派遣研修費	18,138,000	17,719,091	0	418,909	教職員の資質や指導力の向上を図るため、計画的な派遣により研鑽を積む。

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																								
教職員派遣研修費 つづき																													
					中央研修講座への派遣 各種研修会・講習会への派遣																								
					指導主事及び現職教員を中央研修講座等に派遣することで、指導力の向上を図るとともに、各地区において中核となる人材の育成を図った。																								
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>テーマ及び派遣先</th> <th>人数</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">内地留学</td> <td>発達障がいの生徒支援 鳥取大学地域学部(1名)</td> <td rowspan="2">2人</td> <td rowspan="2">1年</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育の充実 鳥根大学大学院教育学 研究科発達臨床(1名)</td> </tr> <tr> <td>新教育大学 大学院</td> <td>兵庫教育大学大学院 (2年目1名、1年目1名)</td> <td>2人</td> <td>2年</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大学の知と 連携した授 業改革によ る学びの質 の向上</td> <td>静岡大学大学院(1名)</td> <td>1人</td> <td>1年</td> </tr> <tr> <td>東京大学(4名)</td> <td>4人</td> <td>9日間</td> </tr> <tr> <td>企業</td> <td>(株)ホンダカーズ鳥取・米子中央 店</td> <td>1人</td> <td>1年</td> </tr> </tbody> </table>	区分	テーマ及び派遣先	人数	期間	内地留学	発達障がいの生徒支援 鳥取大学地域学部(1名)	2人	1年	特別支援教育の充実 鳥根大学大学院教育学 研究科発達臨床(1名)	新教育大学 大学院	兵庫教育大学大学院 (2年目1名、1年目1名)	2人	2年	大学の知と 連携した授 業改革によ る学びの質 の向上	静岡大学大学院(1名)	1人	1年	東京大学(4名)	4人	9日間	企業	(株)ホンダカーズ鳥取・米子中央 店	1人	1年
区分	テーマ及び派遣先	人数	期間																										
内地留学	発達障がいの生徒支援 鳥取大学地域学部(1名)	2人	1年																										
	特別支援教育の充実 鳥根大学大学院教育学 研究科発達臨床(1名)																												
新教育大学 大学院	兵庫教育大学大学院 (2年目1名、1年目1名)	2人	2年																										
大学の知と 連携した授 業改革によ る学びの質 の向上	静岡大学大学院(1名)	1人	1年																										
	東京大学(4名)	4人	9日間																										
企業	(株)ホンダカーズ鳥取・米子中央 店	1人	1年																										
(主) 近畿高等学 校総合文化祭鳥取 大会開催事業	40,469,000	32,451,182	0	8,017,818																									
県立学校第三者評 価推進事業	1,331,000	1,100,943	0	230,057	県立学校8校で県教育委員会が委 嘱した有識者による第三者評価を 実施。H26年度から2巡目。 →各学校とも平成22年度の評価 で指摘を受けた点は克服され ていた。																								
(主) 高等学校改 革推進事業	137,000	125,372	0	11,628																									
県立高校裁量予算 学校独自事業					学校長が独自性を発揮した学校経 営ができるよう、学校運営費、教 職員旅費、学校独自事業の総額を 一括して配分し、学校長裁量によ る予算執行を行った。 各学校の課題解決のための臨機応 変な対応ができ、実施に当たって の費用対効果の検証、説明責任を 果たすなど、学校の自主・自立に 繋がっている。																								
予算額及び決算額 は教育環境課で計 上																													

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																				
公立高等学校就学支援事業	823,195,000	803,563,423	0	19,631,577	保護者等の市町村民税所得割額の合計が30万2,400円未満の世帯について、就学支援金及び学び直し支援金の支給を行った。 【支給状況】 ・就学支援金 在籍者の約85%に支給 支給総額:797,699,664円 年度内の受給資格者数(実人数):7,120人 ・学び直し支援金 支給総額:104,840円 年度内の受給資格者数(実人数):18人																				
高等学校教育企画費	42,861,000	42,626,462	0	234,538	県立高等学校に対して指導・助言を行うとともに、関係団体への助成を行った。																				
入学選抜諸費	5,250,000	4,685,661	0	564,339	平成27年度県立高等学校入学者等の選抜を実施した。 願書受付(一般) 28.2.22~2.24 入学者選抜検査(一般) 28.3.8~3.9 合格発表 28.3.16																				
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>課程</th> <th>定員</th> <th>志願者</th> <th>受験者</th> <th>合格者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全日制</td> <td>4,064</td> <td>4,456</td> <td>4,369</td> <td>3,841</td> </tr> <tr> <td>定時制</td> <td>220</td> <td>164</td> <td>161</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,284</td> <td>4,620</td> <td>4,530</td> <td>3,975</td> </tr> </tbody> </table>	課程	定員	志願者	受験者	合格者	全日制	4,064	4,456	4,369	3,841	定時制	220	164	161	134	計	4,284	4,620	4,530	3,975
課程	定員	志願者	受験者	合格者																					
全日制	4,064	4,456	4,369	3,841																					
定時制	220	164	161	134																					
計	4,284	4,620	4,530	3,975																					
目 計	963,755,000	933,594,750	0	30,160,250																					
(教育振興費) (主)21世紀型能力を育む次世代授業創造プロジェクト	4,400,000	1,795,160	0	2,604,840																					

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
未来を拓く学力向上事業	11,019,000	7,662,415	0	3,356,585	<p>学校の枠を超えた連携を深め、教員同士が協働して教科指導力を向上させ授業改善を図るための取組や、切磋琢磨しながら進路実現に向けて果敢にチャレンジする生徒を育成するための取組を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エキスパート教員育成 <ul style="list-style-type: none"> 参加教員数4人 →内2人をエキスパート教員に認定 ・学校連携チャレンジサポート事業(10校14事業) ・理数課題研究等発表会 <ul style="list-style-type: none"> 参加生徒数43人 ・「科学の甲子園」鳥取県大会 <ul style="list-style-type: none"> 参加生徒数79人 ・専門高校活動成果発表会 <ul style="list-style-type: none"> →2月開催 専門高校9校参加 場所：県民ふれあい会館 専門高校の活動の成果を各学校間で共有し、各専門高校の教育活動の質を向上させるとともに、実社会で通用する生徒の表現力やコミュニケーション能力を育成。
県立高校土曜授業等実施事業	4,000,000	2,814,819	0	1,185,181	<p>土曜日において、生徒にこれまで以上に豊かな教育環境を提供し、その成長を支えるため、土曜授業の実施に取り組むとともに、土曜日を活用して、学校と地域が連携した多様な学習や体験活動等の機会の充実に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点校で月に2回程度教育課程内で授業を実施 ・モデル校9校で学期に数回程度、希望する生徒を対象に学校と地域が連携した多様な学習や体験活動等の機会を設定
鳥取発！高校生グローバルチャレンジ事業	13,454,000	10,348,392	0	3,105,608	<p>海外留学(長期・短期)への支援、英語弁論大会の開催及び高校生25名程度を約1週間東・東南アジアへ派遣する事業等を実施し、世界に目を向けた将来展望を持った生徒を育成。</p> <p>参加人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外留学への支援 <ul style="list-style-type: none"> 長期2名、短期8名 計10名 ・英語弁論大会20名 ・生徒派遣事業28名
(主)英語教育強化推進事業	13,175,000	6,983,275	0	6,191,725	

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
グローバル・リーダー育成事業	12,227,000	12,188,480	0	38,520	<p>将来様々な分野において国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成するため、国事業（※スーパーグローバルハイスクール）を活用し、指定高等学校が国内外の大学や企業、国際機関等と連携し、質の高いカリキュラムを開発・実践。</p> <p>※スーパーグローバルハイスクール 期間：5年間 指定校：鳥取西高等学校 内容： ・課題研究 地域の課題をグローバルな視点で解決する探究型学習を実施 ・外国人教員の授業 グローバル課題に関する英語の授業を実施 3名×35時間 ・海外大学派遣研修 生徒12名をアデレード大学（豪）に派遣し、「地域の活性化」などのテーマについて、インタビューなどのフィールドワークとプレゼンテーションを実施</p>
外国語教育改善指導費	127,990,000	116,517,046	0	11,472,954	<p>語学指導を行う外国青年を県立学校に配置した。 ・英語 23名 ・韓国語 2名</p> <p>英語担当教員の資質の向上を図るため英語圏の大学への2ヶ月派遣を実施 米 デンバー大学 1名</p>
(主)鳥取県版 キャリア教育推進事業	4,345,000	4,317,415	0	27,585	
外部人材活用事業	6,524,000	5,057,675	0	1,466,325	<p>県立高校・大学教員交流事業 高等学校の生徒が大学教員の講義を受けることにより、学ぶことへの意欲の高揚を図るとともに、将来の進路目標に向かって学習する態度の育成に努めた。</p>

区分	実施校	のべ教員数
鳥取大学	8校	19名
鳥取環境大学	5校	9名

・社会人講師活用事業
 生徒の興味・関心に応じた多様な教育を展開し、専門的な知識・技術を有する社会人講師として招へいた。
 県立高校23校

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
キャリア発達支援事業	5,855,000	4,797,457	0	1,057,543	福祉資格取得の促進 ・鳥取県ヘルプメイト資格の認定 → 認定者 4校 52名 ・介護職員初任者研修の支援 → 実施校 4校 職業教育技術顕彰の実施 → 264名の生徒を表彰 就職支援相談員の配置 → 17校17名 農業後継者のつどいへの助成 → 参加生徒 3校12名 県外先進地農家への派遣 → 派遣生徒 2校11名
特例教育課程による地域研究事業 (教育研究開発事業)	1,993,000	1,534,399	0	458,601	県立高校1校を文部科学省の研究開発学校に指定し、将来の地域を支える人材を育成するため、地域に関することの教材化等、新しい教育課程の研究開発を行う。 期間：4年間（H25～28） 指定校：岩美高等学校
指導方法の改善に関する実践研究 (教育課程研究指定校事業)	1,538,000	732,119	0	805,881	学習指導要領の実施を踏まえた教育課程の編成、指導方法等の工夫改善を中心とする生徒の学習意欲を向上させる授業づくりに関する実践研究を、県立高校2校で行う。 期間：2年間（H26～27） 指定校：鳥取商業高等学校 米子南高等学校
定時制通信制教育振興費	1,376,000	639,466	0	736,534	高等学校の定時制・通信制課程に在籍する一定の要件を満たす生徒に対し、教科書・学習書を給与した。

区分	定時制			通信制		
	人数	冊数	金額	人数	冊数	金額
	人	冊	円	人	冊	円
鳥取緑風	3	19	16,185	10	44	36,912
倉吉東	7	61	43,415			
米子東	8	58	42,680			
米子白鳳	3	26	18,910	24	156	168,299
計	21	164	121,190	34	200	205,211

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果												
中学校のための高等学校理解促進事業	1,000,000	922,428	0	77,572	中学生の高等学校に対する理解促進を図り、高校入学時のミスマッチの防止を図った。												
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進路指導資料「輝け！夢」の作成</td> <td>県内中学校の2年生全員に配布 7,300部</td> </tr> <tr> <td>中学生県立高校体験事業の実施(学校裁量予算で実施)</td> <td>県立高校体験入学または授業参観等 対象:中学生、保護者、中学校教員 時期:夏季休業中等において各高等学校が期間設定</td> </tr> </tbody> </table>	区分	実績	進路指導資料「輝け！夢」の作成	県内中学校の2年生全員に配布 7,300部	中学生県立高校体験事業の実施(学校裁量予算で実施)	県立高校体験入学または授業参観等 対象:中学生、保護者、中学校教員 時期:夏季休業中等において各高等学校が期間設定						
区分	実績																
進路指導資料「輝け！夢」の作成	県内中学校の2年生全員に配布 7,300部																
中学生県立高校体験事業の実施(学校裁量予算で実施)	県立高校体験入学または授業参観等 対象:中学生、保護者、中学校教員 時期:夏季休業中等において各高等学校が期間設定																
文化芸術活動支援事業	49,971,000	32,670,001	0	17,300,999	高等学校文化部に対して支援を行うことで、文化部活動を活性化し、文化芸術活動に対する機運を高めるとともに、近畿高等学校総合文化祭開催を契機として、全国レベルの文化部養成と鳥取県の高校の文化部活動の発展・充実を図った。												
文化芸術活動支援事業つづき					<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外部指導者招へい事業(学校裁量予算で実施)</td> <td>文化部活動において校外の社会人に指導を受けた。</td> </tr> <tr> <td>合同練習会等支援事業</td> <td>全国高等学校総合文化祭滋賀大会に合同で出場する部門が、一同に集まって練習した。</td> </tr> <tr> <td>備品整備事業</td> <td>アルトサクソフォン、バリトンサクソフォン、カスタムホルン、ホルン、トランペット、クラリネット、デスクトップパソコン、デジタルビデオカメラ等日常の活動に必要な備品を整備した。</td> </tr> <tr> <td>県高等学校文化連盟への助成</td> <td>ア 全国高等学校総合文化祭(滋賀)派遣費補助 イ 近畿高等学校総合文化祭(鳥取)派遣費補助 ウ 鳥取県高等学校総合文化祭開催費補助</td> </tr> <tr> <td>文化部パワーアップ事業</td> <td>近畿高等学校総合文化祭鳥取大会に向けて、文化部活動のレベルアップを図るため、第35回近畿高等学校総合文化祭鳥取県実行委員会に経費を補助した。 ・県内外の著名・優秀指導者による生徒への指導 ・楽器等の備品整備 ・全国レベルの指導者養成のため、研修に派遣</td> </tr> </tbody> </table>	区分	実績	外部指導者招へい事業(学校裁量予算で実施)	文化部活動において校外の社会人に指導を受けた。	合同練習会等支援事業	全国高等学校総合文化祭滋賀大会に合同で出場する部門が、一同に集まって練習した。	備品整備事業	アルトサクソフォン、バリトンサクソフォン、カスタムホルン、ホルン、トランペット、クラリネット、デスクトップパソコン、デジタルビデオカメラ等日常の活動に必要な備品を整備した。	県高等学校文化連盟への助成	ア 全国高等学校総合文化祭(滋賀)派遣費補助 イ 近畿高等学校総合文化祭(鳥取)派遣費補助 ウ 鳥取県高等学校総合文化祭開催費補助	文化部パワーアップ事業	近畿高等学校総合文化祭鳥取大会に向けて、文化部活動のレベルアップを図るため、第35回近畿高等学校総合文化祭鳥取県実行委員会に経費を補助した。 ・県内外の著名・優秀指導者による生徒への指導 ・楽器等の備品整備 ・全国レベルの指導者養成のため、研修に派遣
区分	実績																
外部指導者招へい事業(学校裁量予算で実施)	文化部活動において校外の社会人に指導を受けた。																
合同練習会等支援事業	全国高等学校総合文化祭滋賀大会に合同で出場する部門が、一同に集まって練習した。																
備品整備事業	アルトサクソフォン、バリトンサクソフォン、カスタムホルン、ホルン、トランペット、クラリネット、デスクトップパソコン、デジタルビデオカメラ等日常の活動に必要な備品を整備した。																
県高等学校文化連盟への助成	ア 全国高等学校総合文化祭(滋賀)派遣費補助 イ 近畿高等学校総合文化祭(鳥取)派遣費補助 ウ 鳥取県高等学校総合文化祭開催費補助																
文化部パワーアップ事業	近畿高等学校総合文化祭鳥取大会に向けて、文化部活動のレベルアップを図るため、第35回近畿高等学校総合文化祭鳥取県実行委員会に経費を補助した。 ・県内外の著名・優秀指導者による生徒への指導 ・楽器等の備品整備 ・全国レベルの指導者養成のため、研修に派遣																

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
まんが・メディア 芸術活動事業	9,298,000	5,986,203	0	3,311,797	「まんが王国とっとり」を盛り上げるために発足した「高校生まんが王国とっとり応援団」で積み上げてきた活動を発展させ、高校生の文化活動の活性化を図るとともに、近畿高等学校総合文化祭鳥取大会で「まんが部門」を開催することで、鳥取県の魅力を生き生きと他府県に伝えるなど、地域を支える人材の育成を図った。

区分	実績
まんがの描き方ワークショップ	平成27年7月25日(土) 第1回ワークショップ実施 参加生徒数 13名 平成27年7月26日(日) 第2回ワークショップ実施 参加生徒数 12名 平成27年9月12日(土) 第3回ワークショップ実施 参加生徒数 12名
まんがコンテスト	コンテスト参加期間や内容が近畿高等学校総合文化祭鳥取大会まんが部門の準備・開催期間と重複することにより未実施
まんが甲子園への出場	平成27年7月31日(金)～8月2日(日) まんが甲子園出場 出場生徒 5名 まんが甲子園視察 視察生徒 3名
韓国高校生との交流	平成27年11月21日(土) 韓国江原アニメーション高等学校との交流 〔参加生徒〕 まんが応援団生徒 10名 韓国江原アニメーション高等学校生徒 12名
近畿地区高校生徒の交流	平成27年11月21日(土) 近畿地区他府県代表生徒との交流 〔参加生徒〕 他府県代表徒 7名
コーディネーター1名の配置	・まんがの描き方ワークショップを3回実施 ・まんが甲子園視察生徒引率 ・近畿高等学校総合文化祭鳥取大会まんが部門の準備及び運営

未来につなぐ高校 生活支援事業	11,211,000	10,480,853	0	730,147	
--------------------	------------	------------	---	---------	--

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
未来につながる高校生活支援事業 つづき	区分		実績		
	とっとり夢プロジェクト事業	創造力とチャレンジ精神を持った高校生の主体的な企画・活動を支援した。 ・「高校生がプロデュース・まちなかチャレンジデー」(鳥取西高校)、「高校生の科学研究コンテストで世界一を目指す！」(米子工業高等専門学校)、「鳥取から発信・高校生による映画制作の拠点づくり」(米子工業高等専門学校)の3プロジェクトを採択した。			
	いじめ問題支援事業	全県立高校で心理検査hyper-QUを実施し、生徒及び生徒の所属する集団の状況を把握して、適切な支援策を講じる資料とした。 県立高校24校の1・2年生徒対象に各校2回実施(定時制は1～3年生) ・教員を対象に、心理検査hyper-QUの結果の分析や活用に関する研修を実施。参加教員数 34人			
	高校生マナーアップ推進事業	高校生の社会の一員としての自覚を高め、規範意識の向上を図るため、あいさつ運動等を実施した。			
	区分	実施期間	参加人数	活動内容	
	第1回	H27.4.14～4.17	約5,400人	①JR主要駅前での挨拶運動・マナーアップ呼びかけ ②各高校校門付近での挨拶運動、服装・マナー指導	
	第2回	H27.9.8～9.11	約5,600人	③列車に乗車してのマナー指導 ④各校独自のマナーアップ運動	
	第3回	各学校ごとの取組に変更			
(主) 自己理解・他者理解アプローチ事業	3,710,000	1,834,633	0	1,875,367	
ICTを活用した学び直しプロジェクト	940,000	899,640	0	40,360	モデル校1校(智頭農林高校)を指定し、学校独自で設定した基礎科目の授業において小中学校の学力を補うために、学習の一部をデジタル化し、独自作成問題をタブレット型端末のアプリケーションソフトに載せ、生徒の学習レベルにあった問題を教材に用いての振り返り学習を実施した。
とっとり農林水産人材育成システム推進事業(県版SPH事業)	6,437,000	0	6,437,000	0	国の地方創生加速化交付金を活用し、事業着手をしたが、年度内に事業期間が確保できず、年度内完了が困難となったため、全額次年度に繰越した。
(明許) (主) 鳥取県版キャリア教育推進事業	11,157,000	3,478,635	0	7,678,365	
目 計	301,620,000	231,660,511	6,437,000	63,522,489	

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(教育財産管理費) 倉吉農業高等学校 演習林活用事業	6,527,000	6,363,457		163,543	管理が十分できていなかった演習林(約110ヘクタール)について、計画的な間伐等の整備と並行して、学校教育活動のみならず、広く「県民の森」として活用を行った。 〔間伐整備〕 10.32ha 〔森林活用〕 ・生徒間伐体験:フォワーダー等の林業機械見学等 ・共生の森:間伐整備された林の手入れ ・山野草の学習:自生植物等の観察 ・記念植樹:創立130周年記念植樹(生徒15人、OB23人参加)
(明許) 倉吉農業高等学校 演習林活用事業	8,984,000	7,982,701		1,001,299	
目 計	15,511,000	14,346,158	0	1,164,842	
合 計	1,291,608,000	1,188,905,023	6,437,000	96,265,977	

9 予備費の充用調べ
該当なし

10 繰越関係調べ

(1) 継続費通次繰越調べ
該当なし

(2) 繰越明許費調べ

(単位:円)

科目	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳				繰越理由
				既収入 特定財源	未収入特定財源		一般財源	
					国庫支出金	その他		
教育振興費	とっとり農林水産 人材育成システム 推進事業(県版 SPH事業)	6,437,000	6,437,000	0	3,398,000	0	3,039,000	国の地方創生加速化交付金を活用し、事業着手したが、 年度内に事業期間が確保できず、年度内完了が困難となっ たため。
合 計		6,437,000	6,437,000	0	3,398,000	0	3,039,000	

(3) 事故繰越調べ
該当なし

11 収入証紙取扱額調べ

(単位:円)

収入科目		件数	単価	証紙はりつけ額	備考
目	細節				
教育手数料	全日制高等学校入学料	3,447	5,550	19,130,850	
	定時制高等学校入学料	95	2,050	194,750	
	通信教育入学料	35	480	16,800	
	入学選抜手数料	2,539		5,477,800	
	証明書発行手数料	1,122		472,160	
	計(節)	7,238		25,292,360	
	本庁執行分計(目)	7,238		25,292,360	
	出納機関執行分計(目)			0	
	目 計			25,292,360	
	合 計				

12 収入事務処理状況調べ
 (1) 分担金及び負担金
 該当なし

(2) 使用料

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	細節							
本庁執行分計(教育使用料)		0	0	0	0	0		
教育使用料	高等学校全日制授業料	928,164,300	927,810,300	0	0	354,000		収入未済額内訳(鳥取湖陵高)過年度調定分 354,000円
	定時制高等学校授業料	7,090,200	7,090,200	0	0	0	鳥取県立高等学校授業料等徴収条例	鳥取緑風高、倉吉東高、米子東高、米子白鳳高
	通信教育受講料	660,822	660,822	0	0	0		鳥取緑風高、米子白鳳高
	高等学校授業聴講料	8,820	8,820	0	0	0		鳥取緑風高、米子白鳳高
出納機関執行分計(教育使用料)		935,924,142	935,570,142	0	0	354,000		
目計		935,924,142	935,570,142	0	0	354,000		
合計		935,924,142	935,570,142	0	0	354,000		

(単位:円)

(3) 手数料

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	細節							
教育手数料	全日制高等学校入学料	3,447	19,130,850	19,130,850	0	0		
	定時制高等学校入学料	95	194,750	194,750	0	0	鳥取県立高等学校授業料等徴収条例	
	通信教育入学料	35	16,800	16,800	0	0		
	入学選抜手数料	2,539	5,477,800	5,477,800	0	0		
	証明書発行手数料	1,123	472,810	472,810	0	0	鳥取県手数料徴収条例	
本庁執行分計(教育手数料)		7,239	25,293,010	25,293,010	0	0		
教育手数料	全日制高等学校入学料	485	2,691,750	2,691,750	0	0		各県立高校
	定時制高等学校入学料	26	53,300	53,300	0	0	鳥取県立高等学校授業料等徴収条例	鳥取緑風高、倉吉東高、米子東高、米子白鳳高
	通信教育入学料	22	10,560	10,560	0	0		
	入学選抜手数料	2,107	4,521,400	4,521,400	0	0		鳥取緑風高、米子白鳳高
	証明書発行手数料	4,838	2,031,960	2,031,960	0	0	鳥取県手数料徴収条例	鳥取緑風高、米子白鳳高
出納機関執行分計(教育手数料)		7,478	9,308,970	9,308,970	0	0		
目計		14,717	34,601,980	34,601,980	0	0		
合計		14,717	34,601,980	34,601,980	0	0		

(単位:円)

(4) 財産収入
該当なし(5) 寄付金
該当なし

(6) 諸収入

(単位:円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節							
雑収入	非常勤職員等雇用保険料 本人負担分	162	177,577	177,577	0	0		
	世界で学ぶ!高校生海外 体験推進事業に係る参加 負担	21	2,604,000	2,604,000	0	0		
	科学の甲子園鳥取県代表 選考に係る経費	1	161,575	161,575	0	0		科学技術振興機構
本庁執行分計(雑入)		184	2,943,152	2,943,152	0	0		
雑収入	非常勤職員等雇用保険料 本人負担分		1,219,517	1,219,517				各県立高校
	過年度非常勤職員報酬等 過払い分		44,940	44,940				鳥取中央育英高
	外国語指導助手所得税還 付金		3,215	3,215				米子高
	外国語指導助手敷金返納 分		290,000	290,000				青谷高、米子東高、米 子西高
	アデレード大学研修参加生 徒自己負担分		717,024	717,024				鳥取西高
出納機関執行分計(雑入)			2,274,696	2,274,696	0	0		
目計			5,217,848	5,217,848	0	0		
合計			5,217,848	5,217,848	0	0		

(7) 現金の取扱状況
ア 現金取扱状況

(単位:円)

収入科目(節)	収入 済 額	備 考
教育手数料	650 証明書発行手数料	
合 計	650 (1件)	
イ つり銭の状況 該当なし		
三浦建設株式会社(貸了)	273,174	
建設し野原店 会社へ入金済金100万円	273,174	
三浦建設株式会社(貸了)	11,054	
三浦建設株式会社(貸了)	38,000	
三浦建設株式会社(貸了)	3,518	
三浦建設株式会社(貸了)	4,000	
三浦建設株式会社(貸了)	13,164	
三浦建設株式会社(貸了)	7,623	
三浦建設株式会社(貸了)	4,171	
三浦建設株式会社(貸了)	3,604,000	
三浦建設株式会社(貸了)	11,240	
三浦建設株式会社(貸了)	181	
三浦建設株式会社(貸了)	18,000	
三浦建設株式会社(貸了)	50	
三浦建設株式会社(貸了)	181	
三浦建設株式会社(貸了)		
三浦建設株式会社(貸了)		

13 収入未済額調べ

(単位:円)

収入科目 目	区分		過 年 度						現 年 度 分			収入未 済額 計(A+B)	未 収 理 由	
	目	節	前年度 以前から の繰越額	左のうち 収入済額	不 納 欠 損 額	差引収入 未済額(A)	収入未済額の調定年度内訳			調定額	収 入 未 済 額 (B)			
							24年度 以前	25年度	26年度					
本庁執行分計(教育使用料)			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
教育手数料	教育手数料	全日制授業料	366,000	12,000	0	354,000	354,000	0	0	0	0	0	354,000	滞納
出納機関執行分計(教育使用料)			366,000	12,000	0	354,000	354,000	0	0	0	0	0	354,000	
目 計			366,000	12,000	0	354,000	354,000	0	0	0	0	0	354,000	
合 計			366,000	12,000	0	354,000	354,000	0	0	0	0	0	354,000	

14 未収金回収促進のための取組状況調べ

該当なし

15 税外収入不納欠損額調べ

該当なし

16 債務負担行為の状況調べ

(単位：円)

事業名	種別	設定状況			当該事業の契約額等	執行(支出)状況					備考
		議決 (補正、当初の別)	期間	限度額		設定年度の執行額 A	債務負担行為の期間			合計 B	
							26年度までの執行額	27年度執行額	28年度以降の執行予定額		
										合計 A+B	
平成24年度県立学校勤務時間管理サポートシステム賃借料	借上料	平成24年3月当初	25年度から29年度まで	4,464,000	484,092	1,936,368	968,184	1,452,276	4,356,828	4,840,920	
平成25年度県立学校勤務時間管理サポートシステム賃借料	借上料	平成25年3月当初	26年度から30年度まで	4,087,000	575,904	863,856	863,856	2,015,664	3,743,376	4,319,280	
平成26年度県立学校勤務時間管理サポートシステム賃借料	借上料	平成26年3月当初	27年度から31年度まで	4,585,000	0	531,360	797,040	2,656,800	3,985,200	3,985,200	
平成26年度岩美高等学校タブレット端末等賃借料	借上料	平成26年3月当初	27年度から28年度まで	3,624,000	0	345,600	829,440	483,840	1,658,880	1,658,880	
平成26年度鳥取高等学校タブレット端末等賃借料	借上料	平成26年3月当初	27年度から29年度まで	5,102,000	0	1,067,409	1,829,844	1,524,870	4,422,123	4,422,123	
合 計				21,862,000	1,059,996	4,744,593	5,288,364	8,133,450	18,166,407	19,226,403	

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(単位:円)

予算科目(目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等(規約、要綱等を含む。)	備考
教育連絡調整費 新規							0		
新規以外のもの							2,677,684		大学授業料、外国青年負担金等
本庁執行分計							2,677,684		
出納機関執行分計							798,726,059		各県立高校(就学支援金)、幹事校14校(全国校長協会等負担金)
目計							801,403,743		
教育振興費 新規							0		
新規以外のもの							3,495,878		外国青年負担金等
本庁執行分計							3,495,878		
出納機関執行分計							1,066,580		鳥取西高校・鳥取商業高校(英語担当教員海外派遣)、米子東高校(まんが甲子園参加料)
目計							4,562,458		
合計							805,966,201		

(2)補助金

予算科目(教育連絡調整費)

① 国 補 分

該当なし

② 単 県 分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年)	交付先	間 接	補助対象経費 補助率及び 補助金額	実施計画 承認 交付申請 年月日 交付決定 年月日	着手年月 日 完了年月 日 実績報告 年月日	額の確定 年月日 検査 年月日 審査・現 地	支出の状況		備考	
							概算 払精	支出年月日		金額
中国地区高等学校定時制通信制教育振興大会補助金(H27年度) 第56回中国地区高等学校定時制通信制教育振興大会の開催	鳥取県高等学校定時制通信制教育振興会(鳥取緑風高等学校長)		575,314	27.4.21	-	28.3.16	概算	27.6.4	100,000	文書ID:15-00170345
			(補助率:定額)	27.5.1	-			28.3.25	△ 100,000	第56回中国地区高等学校定時制通信制教育振興大会を開催するため。
			0	27.5.11	28.3.9	28.3.15				新規(27年度臨時)
鳥取県高等学校家庭クラブ連盟補助金(H11年度) 各種研究会等の開催、全国大会参加経費の助成、機関誌の発行。	鳥取県高等学校家庭クラブ連盟成人代表(米子南高等学校長)		1,197,727	27.4.21	-	28.3.7	概算	27.6.15	1,377,000	文書ID:15-00162813
			(補助率:定額)	27.5.1	-			28.3.14	△ 179,273	家庭クラブ活動を行う生徒に家庭生活の重要性を認識させ、将来の良き家庭設計者としての素地を育成するため。
			1,197,727	27.5.19	28.2.29	28.3.3				引続継続
鳥取県学校農業クラブ連盟補助金(H11年度) 各種競技会・発表会の開催、会報の発行、全国大会参加経費の助成	鳥取県学校農業クラブ連盟成人代表(鳥取湖陵高等学校長)		985,667	27.4.21	-	28.4.11	概算	27.7.3	748,000	文書ID:16-00005243
			(補助率:定額)	27.5.8	-					農業クラブ活動を行う生徒に農業の重要性を認識させ、将来の良き農業経営者としての素地を育成するため。
			748,000	27.5.12	28.3.31	28.4.8				引続継続
近畿高等学校総合文化祭鳥取大会補助金(H26年度) 著名指導者招へい、備品整備、指導者研修、近畿高総文祭の開催準備	近畿高等学校総合文化祭鳥取県実行委員会委員長		30,090,509	27.4.13	-	28.3.24	概算	27.6.5	14,475,714	文書ID:15-00172927
			(補助率:定額)	27.5.14	-		"	27.7.3	23,524,286	
			29,974,853	27.5.28	28.3.18	28.3.18		28.3.31	△ 8,025,147	
本庁執行分計								31,920,580		
出納機関執行分計										
単 県 分 計								31,920,580		
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の()書きは、変更に係るものの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の()書きは補助金相当額である。									

予算科目(教育振興費)

① 国 補 分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年)	交付先	間 接	補助対象経費 補助率及び 補助金額	実施計画 承認 交付申請 年月日 交付決定 年月日	着手年月 日 完了年月 日 実績報告 年月日	額の確定 年月日 検査 年月日 審査・現 地	支出の状況		備考	
							概算 払精	支出年月日		金額
鳥取県高校生海外留学支援補助金(H24年度) 海外留学経費の補助	個人(2名)		4,200,831	-	-	28.3.31	概算	27.11.5	600,000	文書ID:15-00181862
			(補助率:定額)	27.5.28	-		外			
			600,000	27.10.22	28.3.15	28.3.29				
本庁執行分計								600,000		
出納機関執行分計										
単 県 分 計								600,000		
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の()書きは、変更に係るものの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の()書きは補助金相当額である。									

② 単 県 分

補助金等の名称 (補助金等の創設年)	交付先	補助対象経費 補助率及び 補助金額	実施計画 承認 交付申請 年月日 交付決定 年月日	着手年月 日 完了年月 日 実績報告 年月日	額の確定 年月日 採 査 年月日 審査・現 地	支出の状況		備 考			
						概算 払精	支出年月日 金 額				
とっとり夢プロジェクト事業補助金(H26年度) 高校生が企画した活動に係る経費の補助	個人(1名) (米子工業 高等専門 学校)	1,000,438	--	--	28.5.31	概算	27.8.25	1,000,000	文書ID:16-00032776 高校生が自由な発想で企画した活動を支援し、生徒の自主性・個性の伸長や学校・地域の活性化につなげるため。 新規		
		(補助率:定額) 1,000,000	27.6.8	--	27.7.29		28.3.30	28.5.30			
とっとり夢プロジェクト事業補助金(H26年度) 高校生が企画した活動に係る経費の補助	個人(1名) (米子工業 高等専門 学校放送 部)	500,045	--	--	28.5.31	概算	27.8.25	500,000	文書ID:16-00032785 高校生が自由な発想で企画した活動を支援し、生徒の自主性・個性の伸長や学校・地域の活性化につなげるため。 新規		
		(補助率:定額) 500,000	27.7.27	--	27.8.11		28.3.30	28.5.30			
鳥取県高等学校定時制通信制教育振興会補助金(H11年度) 生徒研修活動、表彰、会員研修、会議費、記念誌発行等	鳥取県高等学校定時制通信制教育振興会会長 (鳥取緑風 高等学校 長)	299,091	27.4.21	--	28.3.16	概算	27.6.4	170,000	文書ID:15-00168976 定時制通信制高等学校の生徒が、各種大会や研修会に参加することにより、生徒の学習意欲を高めるため。 引続継続		
		(補助率:補助対象 経費の1/2以下) 149,545	27.5.1	--	27.5.11		28.3.8	28.3.14		28.3.24	△ 20,455
鳥取県高等学校文化連盟補助金(H11年度) 全国高総文祭・近畿高総文祭への派遣、県高総文祭の開催	鳥取県高等学校文化連盟会長 (倉吉東 高等学校 長)	13,654,258	27.4.21	--	28.4.18	概算	27.5.20	800,000	文書ID:16-00006017		
		(補助率:定額) 11,602,155	27.4.27	--	27.5.12		28.3.25	28.4.8		27.7.3	11,403,000
										27.11.2	6,726,000
							28.4.25	△ 7,326,845			
近畿高等学校総合文化祭鳥取大会補助金(H26年度) 指導者招へい、指導者研修への派遣、備品整備	近畿高等学校総合文化祭鳥取県実行委員会 委員長	13,039,961	27.4.13	--	28.3.24	概算	27.6.5	16,201,792	文書ID:15-00172927 近畿高総文祭鳥取大会に向けて文化部活動を活性化するため。		
		(補助率:定額) 13,039,961	27.5.14	--	27.5.28		28.3.18	28.3.18		27.7.3	2,000,000
							28.3.31	△ 5,161,831			
鳥取県高校生海外体験支援補助金(H24年度)	個人(8名)	3,674,292	--	--	27.10.27	概算	27.8.31 外	1,590,645 外	文書ID:15-00099228 15-00101517 15-00182007 16-00033543		
		(補助率:定額) 1,590,645	27.6.29 外	--	27.8.6 外					27.9.4 外	27.10.19 外
本庁執行分計								27,882,306			
出納機関執行分計											
単 県 分 計								27,882,306			
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の()書きは、変更に係るものの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の()書きは補助金相当額である。										

(2)補助金(他課から予算の配当替えを受けて執行するもの)
該当なし

(3)交付金
該当なし

(4)委託料

(単位:円)

予算科目 (目)	国補単の別	委託料の名称	委託契約の相手方	当初契約			人札等 年月日 (契約保証 金納付等 契約形態)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額 変更契約(最終) (契約年月日) 契約額	契約期間 契約期間			支出区分	支出 年月日	金額	
教職員人事費	単	鳥取県立学校時間外業務管理システム運用管理業務	(株)鳥取県情報センター	872,424	(H27.4.1) 872,424	27.4.1 ~ 28.3.31	(27.3.20) 免除	28.3.31	精算	28.4.22	872,424	文書ID:16-00003870 システムの開発者及び著作権者であり、システム内容を熟知している者であるため。
		鳥取県立学校休暇等申請・承認システム運用管理業務	(株)鳥取県情報センター	872,424	(H27.4.1) 872,424	27.4.1 ~ 28.3.31	(27.3.20) 免除	28.3.31	精算	28.4.22	872,424	文書ID:16-00003870 システムの開発者及び著作権者であり、システム内容を熟知している者であるため。
		鳥取県立学校校外勤務等管理システム運用管理業務	(株)鳥取県情報センター	654,264	(H27.4.1) 654,264	27.4.1 ~ 28.3.31	(27.3.20) 免除	28.3.31	精算	28.4.22	654,264	文書ID:16-00003870 システムの開発者及び著作権者であり、システム内容を熟知している者であるため。
		鳥取県立学校勤務時間管理サポートシステム運用業務等	(株)鳥取県情報センター	1,794,420	(H27.4.1) 1,794,420	27.4.1 ~ 28.3.31	(27.3.20) 免除	28.3.31	精算	28.4.22	1,794,420	文書ID:16-00003870 システムの開発者及び著作権者であり、システム内容を熟知している者であるため。
		予定価格が50万円未満のもの 本庁執行分計 出納機関執行分計 目										0 4,193,532 4,193,532

予算科目 (目)	国 補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手 方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証 金納付等)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考	
				予定価格	(契約年月日) 契約期間	契約額			支出 区分	支出 年月日	金額		
													変更契約(最終)
教育連絡調整費	単 県	鳥取県立高等学校 授業料等徴収シス テム運用・保守業務	(株)鳥取県 情報センタ-	3,231,036	(H27.4.1) 27.4.1 28.3.31	3,231,036	(27.3.31) 免除	28.3.31	精算	28.4.18	3,231,036	文書ID:16-00002514 財務会計システムで収納の 記録管理を行う必要があ り、財務会計システムの所 有者で本システムの開発者 であるため。	
				1時間あたり 1,512円	(H27.4.7) 27.4.7 27.7.16	1,350円	(27.3.13) 免除	27.7.16	精算	27.5.15 27.6.17 27.7.23 27.8.12	743,850 315,225 993,369 361,800	文書ID:14-00174480	
							一般	27.8.5					
									0 5,645,280 0 5,645,280				
教育振興費	単 県	鳥取県中学校英語 指導法研修	フリテイッ シュ・カウンシ ル	572,000	(H27.9.11) 27.9.11 28.3.31	552,000	(27.9.4) 免除	27.11.20	精算	28.1.12	552,000	文書ID:15-00122479	
				1人あたり 299,999			随	27.12.14					
					(H28.2.3) 28.2.3 28.3.25	高校生243,344 引率298,344 ホテル1室追加 9,000	(28.1.15) 免除	28.3.20	精算	28.5.6	7,230,976	文書ID:16-00010817 参加人数:高校生26名 引率3名	
							随	28.4.8					
教育連絡調整費	単 県	「いじめ問題対策事 業」に係るhyper-QU 実施業務	(株)図書文 化社	8,636,160	(H27.4.13) 27.4.13 28.3.31	520円/人	見積書省 略(免除)	27.7.31 28.2.23	精算	27.9.14	4,228,120	文書ID:15-00073474 15-00172947	
							随	27.8.24 28.3.18					hyper-QUを実施できるのは (株)図書文化社のみだ め
									457,720 16,627,256 5,141,178 21,768,434 31,607,246				

(4-2) 委託料(他課から予算の配当替を受けて執行したもの)

(単位:円)

予算科目 (目)	国 補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約		入札等 年月日 (契約保 証金納 契約形態)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況		備考	
				予定価格	契約年月日) 契約額 変更契約(書終) (契約年月日) 契約額			契約期間	契約期間		支出 区分
高等学校総務費											
予定価格が50万円 未満のもの										0	
本庁執行分計										0	
出納機関執行分計										873,660	学校医委託 岩美高、倉吉農業 高、日野高
目 計										873,660	
合 計										873,660	

18 工事請負費調べ

該当なし

18-2 工事請負費調べ(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)

該当なし

19 財産に関する調べ

(1)公有財産

ア 土地
該当なし

イ 建物
該当なし

ウ 山林
該当なし

エ 不動産売却
該当なし

オ 財産の交換
該当なし

カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)
該当なし

キ 物権
該当なし

ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等)
該当なし

ケ 有価証券
該当なし

コ 出資による権利
該当なし

19-1 公有財産		19-2 無体財産権		19-3 有価証券		19-4 出資による権利	
品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量
土地		特許権		株式		出資	
建物		著作権		債券			
山林		商標権					
不動産売却		実用新案件等					
財産の交換							
動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)							
物権							
無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等)							
有価証券							
出資による権利							

(2) 金券類の受払状況
ア 金券の受払状況

(平成28年3月31日現在)

種別	前年度末 円	本年度中		本年度末 円	備考
		購入額 円	使用額 円		
郵便切手及び 郵便はがき	8,848	44,902	43,896	9,854	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシー クーポン券	0	0	0	0	
鉄道パスアリ ペードカード	0	0	0	0	
合計	8,848	44,902	43,896	9,854	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成28年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末 27枚	備考
	購入枚数	使用枚数及び金額		
32枚	0枚	5枚 7,900円	0	

(3) 基金
該当なし

(4) 債 権

(平成28年3月31日現在)

債権の名称	前年度末 現在高		本年度中				本年度末 現在高		備 考
	金 額	件 数	増		減		金 額	件 数	
			金 額	件 数	金 額	件 数			
外国語指導助手 の宿舎借上に 係る敷金		円		円		円		円	
	141,000	1					141,000	1	鳥取東高校
	147,000	1					147,000	1	鳥取西高校
	147,000	1					147,000	1	鳥取商業高校
	110,000	1					110,000	1	鳥取工業高校
	147,000	1					147,000	1	鳥取湖陵高校
	231,000	3			84,000	2	147,000	1	青谷高校
	156,000	1					156,000	1	岩美高校
	294,000	2					294,000	2	八頭高校
	106,000	1	160,000	2	106,000	1	160,000	2	米子東高校
	100,000	1	53,000	1	100,000	1	53,000	1	米子西高校
	104,000	1					104,000	1	米子高校
	61,000	1					61,000	1	米子工業高校
	172,000	2					172,000	2	境高校
	118,000	1					118,000	1	日野高校
	141,000	1					141,000	1	鳥取北中学校
	100,000	1					100,000	1	境二中学校
	100,000	1					100,000	1	境三中学校
合 計	2,375,000	21	213,000	3	290,000	4	2,298,000	20	

20 財産の貸付け及び使用許可調べ									
(1) 土地及び建物									
ア 土地									
該当なし									
イ 建物									
該当なし									
(2) 物品									
該当なし									
21 借受不動産明細調べ									
該当なし									
22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ									
(1) 職員住宅									
ア 管理状況									
該当なし									
イ 異動状況									
該当なし									
(2) 職員駐車場									
ア 管理状況									
該当なし									
イ 異動状況									
(行政・普通財産)									
該当なし									
23 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ									
該当なし									
24 寄附物件の受納状況調べ									
該当なし									

25 備品の処分状況調べ
該当なし

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個数
平成27年6月10日	・ 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>		

27 貸付金等状況調べ

(1) 総括表
該当なし

(2) 償還状況
該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する要望等
該当なし

(2) 監査委員事務局に対する意見・要望等
該当なし

